

介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件

区分	職場環境要件
	当事業所としての取組
入職促進に向けた取組	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査に基づく人事異動を実施している。
	<p>他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人や事業所の理念やケア方針の共有、各個人の育成方針を共有し人材育成を重点的に行っている。 ・年齢問わず、未経験者の採用も行っている。 ・業務内容を一律に設定せず、多様な働き方に対応できるような業務内容の見直しを行い、個々に応じた働き方ができる体制を整えている。 ・中途採用者を積極的に雇用しており、働きやすい柔軟な勤務シフトの作成を行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら上位資格取得支援制度を導入し、受験料や研修費等の補助、勤務シフトの考慮等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。
	<p>研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を行うとともに各自のスキルに合わせた研修に参加できるように職場環境を整備している。 ・事業所内研修や希望する外部研修への参加を積極的に促し個々のスキルアップに努めている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り希望に応じてシフトを作成している。 ・当事業所と本人が互いに望めば正規職員への転換も行っている。転換の実績あり。
	<p>有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声掛けを行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇の取得促進のため情報共有を行い、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている。 ・年5日以上の有給休暇取得実績あり。法定内取得日数は100%を達成している。 ・本人の希望に応じて取得できるように取り組んでいる。

腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を実施している。
	<p>事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護業務中の事故対応マニュアル（指針）を整備し適宜、事故カンファレンスを他職種参加で行い介護職員の心身の負荷を軽減している。 ・インシデント、アクシデント報告書を作成し、月に1回安全管理委員会にて報告、職員共有の機会を確保しており、各種事故対応マニュアルを整備し責任の所在を明確にしている。 ・事故防止委員会ほか各種委員会の運営やマニュアルの作成を実施している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の抽出と構造化に取り組み、改善に繋がるよう面談時に各個人へヒアリングを行い、法人、事業所として取り組んでいる。
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている。
	<p>業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各業務のマニュアル整備、情報共有ノートを使用している。 ・介護業務の手順書を作成し情報共有を適宜、行っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りでの情報共有で改善を図っている。 ・月に1回カンファレンスを行い、業務内容やケア内容の改善を図っている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供
	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からの謝意の手紙を回覧している。 ・職員全体会議において、お知らせを行い全職員に周知を行っている。